

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2012 年度上半期の発行動向～

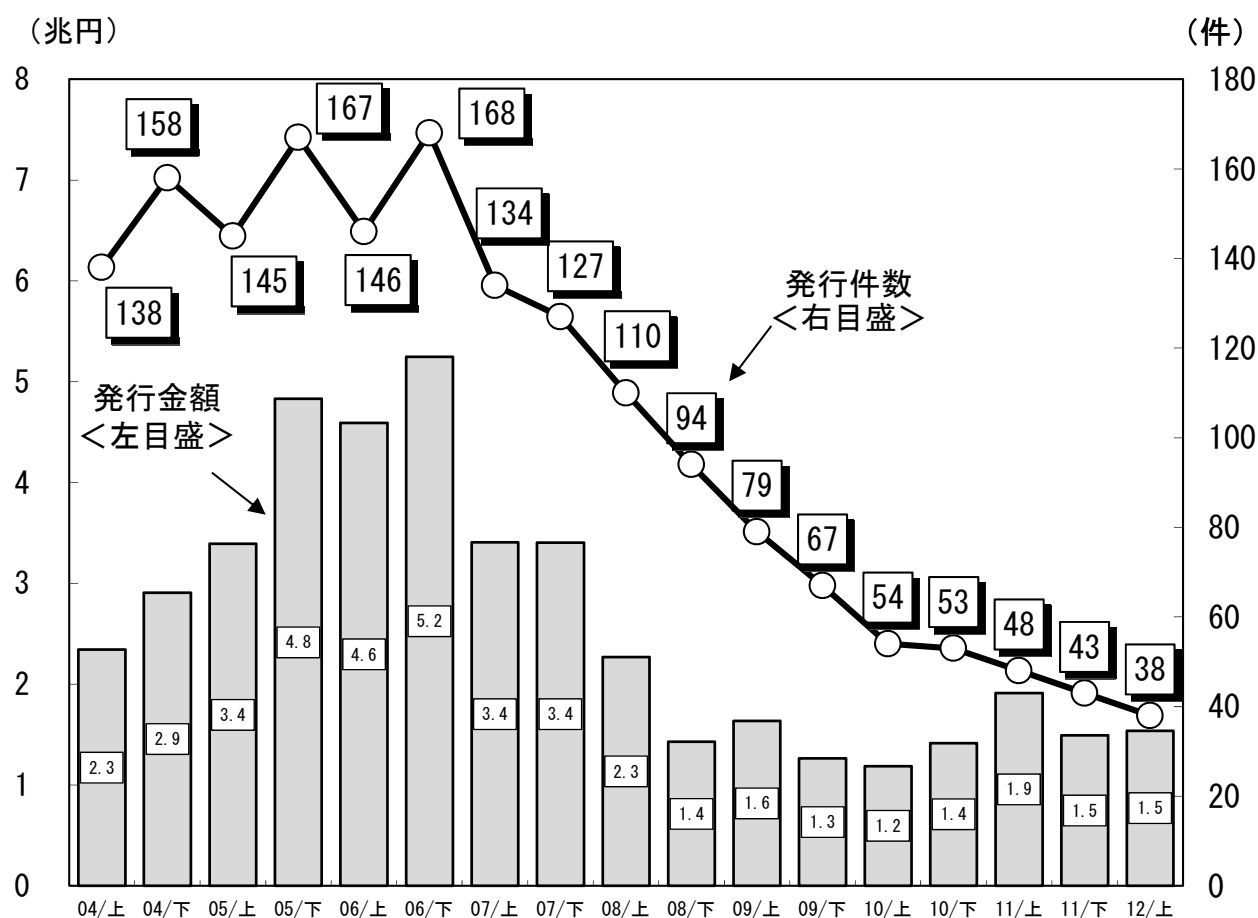
以下は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2012 年度上半期（2012 年 4 月～9 月）の結果を取り纏めたものです。図表データについては、別紙をご参照ください。なお、今回より内容を一部変更しております。

1. 証券化商品全体の発行動向

2012 年度上半期における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに、前年同期を下回った（金額 1 兆 5,385 億円<前年同期比▲20%>、件数 38 件<同▲21%>）。件数については、調査開始以来、最小となった（図表 1）。

（参考）2012 年度上半期における普通社債の発行金額は 4 兆 339 億円（暫定数値）であった。

（図表 1）証券化商品の発行金額・件数



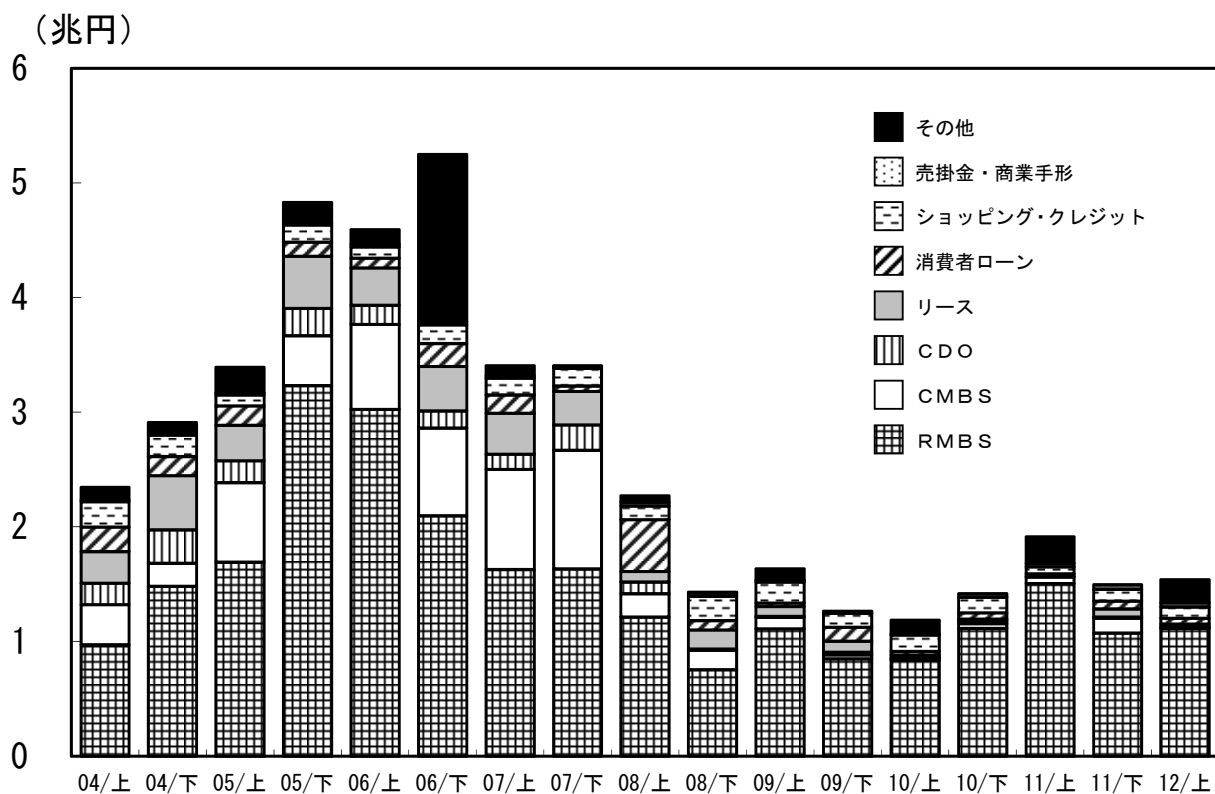
2. 裏付資産別の発行動向

2012 年度上半期における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、「消費者ローン」、「ショッピング・クレジット」及び「売掛金・商業手形」が増加した。一方、「RMBS」、「CMBS」、「リース」及び「その他」は減少した。「CDO」の発行はなかった（図表 2）。

（図表 2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金・商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	11,148	140	0	220	520	979	376	2,003	15,385
前年同期比(億円)	▲3,916	▲422	▲25	▲20	+520	+367	+56	▲298	▲3,738
前年同期比(%)	▲26	▲75	▲100	▲8	—(※)	+60	+17	▲13	▲20
構成比(%)	72	1	0	1	3	6	2	13	100
(参考)発行件数	11	1	0	1	1	7	14	3	38

※「消費者ローン」の前年同期比(%)については、前年同期の発行がないため、「—」としている。



(参考) 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」

：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」

：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」

：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

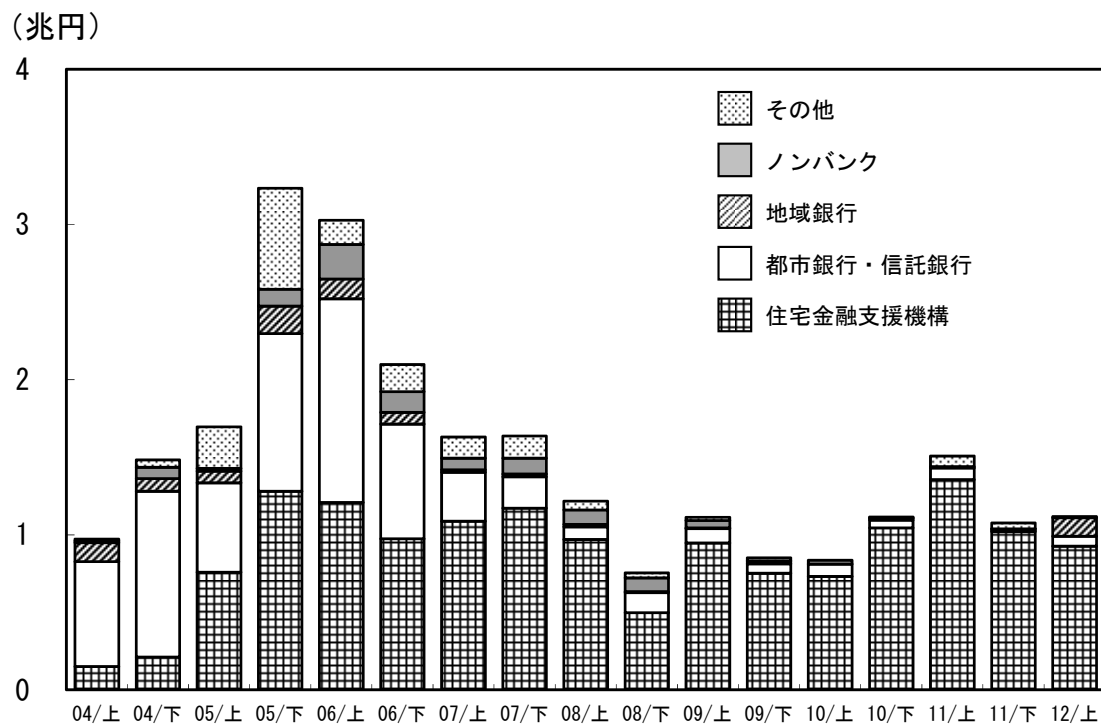
「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

「その他」：基金債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

①オリジネーター別

RMBSの発行金額（1兆1,148億円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」が83%（9,254億円）を占めた（図表3）。

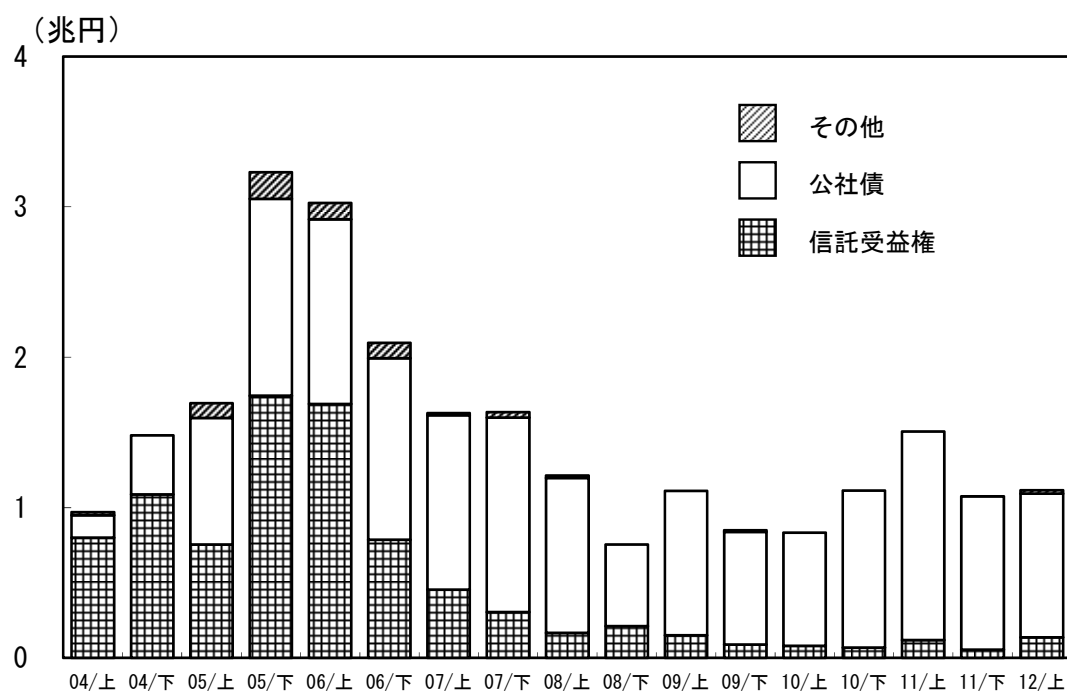
（図表3）RMBSの「オリジネーター」別発行金額



②発行形式別

RMBSの発行金額（1兆1,148億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が86%（9,549億円）を占めた（図表4）。

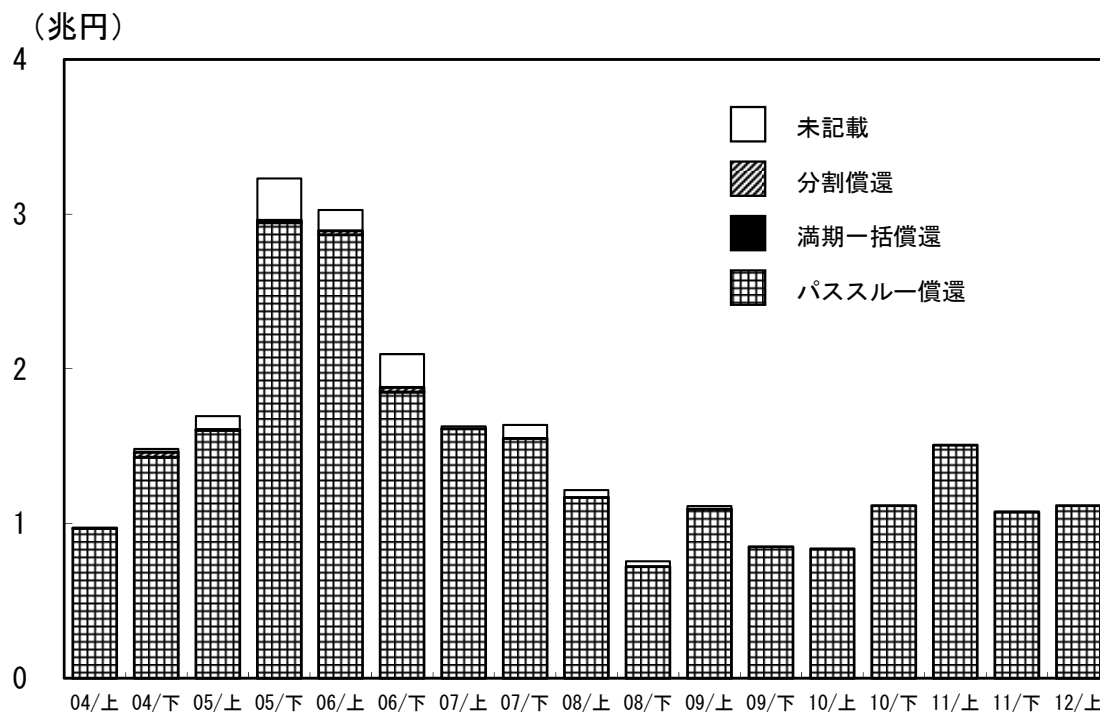
（図表4）RMBSの「発行形式」別発行金額



③償還方法別

RMBSの発行金額（1兆1,148億円）を「償還方法」別にみると、すべてが「パススルー償還」であった（図表5）。

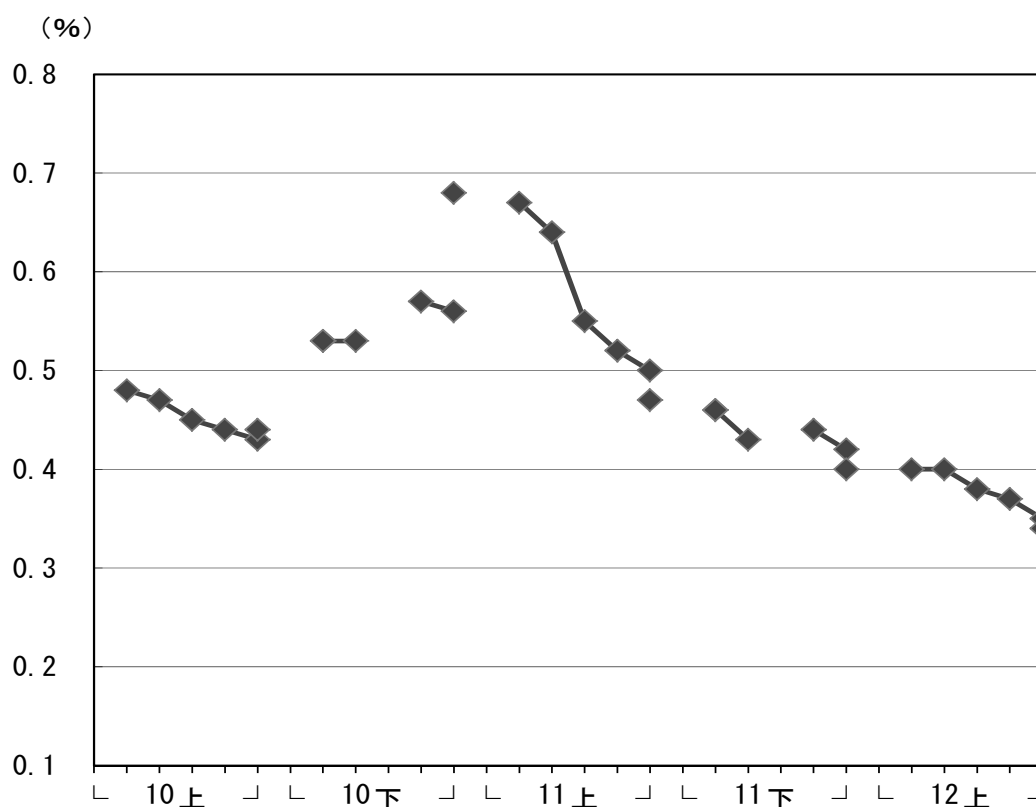
（図表5）RMBSの「償還方法」別発行金額



④発行時のスプレッド

住宅金融支援機構RMBS（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の国債利回りとの差）は、2012年度上半期においては縮小傾向を辿った（図表6）。

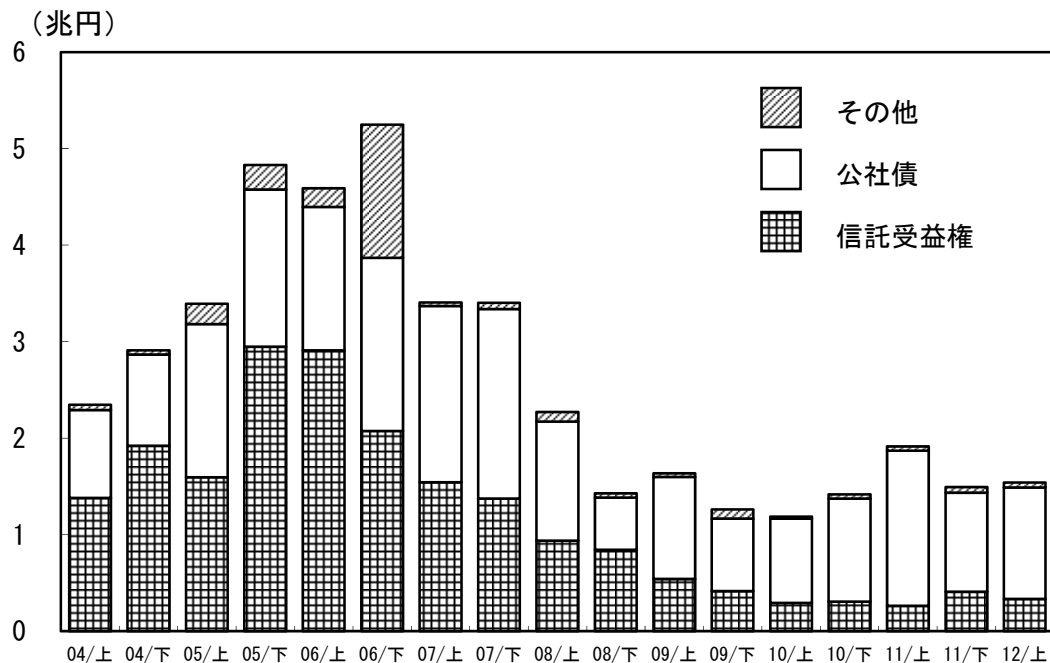
（図表6）住宅金融支援機構RMBSのローンチスプレッド



3. 発行形式別の発行動向

2012 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 5,385 億円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が 75%（1 兆 1,549 億円）を占め、次いで「信託受益権」が 22%（3,326 億円）を占めた（図表 7）。

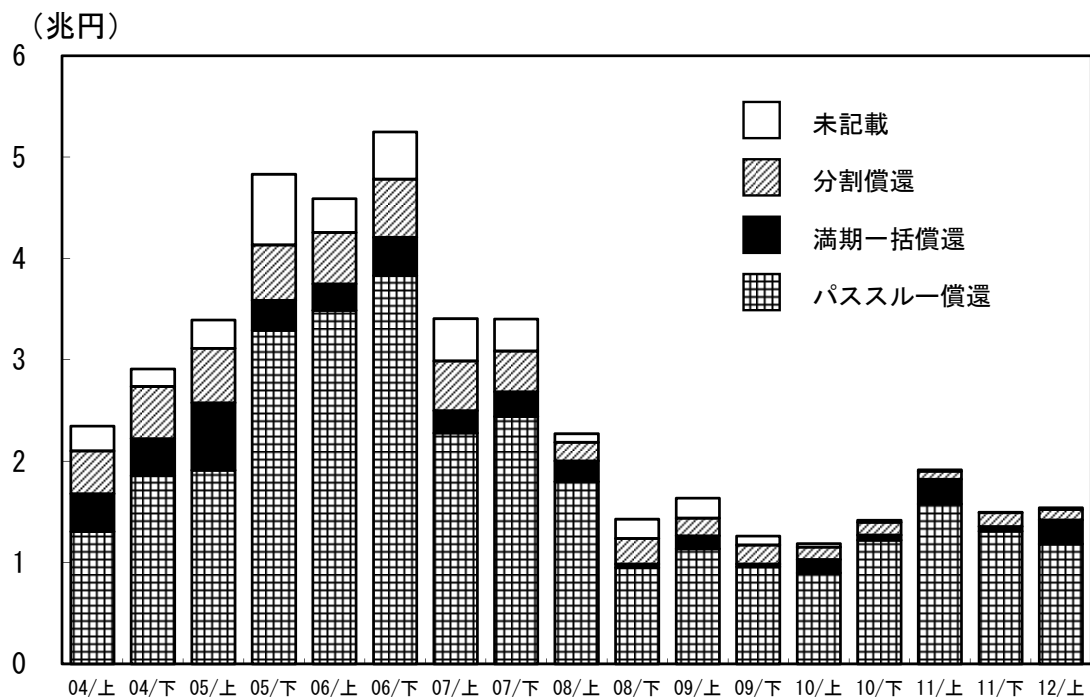
（図表 7）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2012 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 5,385 億円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 77%（1 兆 1,830 億円）を占め、次いで「満期一括償還」が 15%（2,376 億円）を占めた（図表 8）。

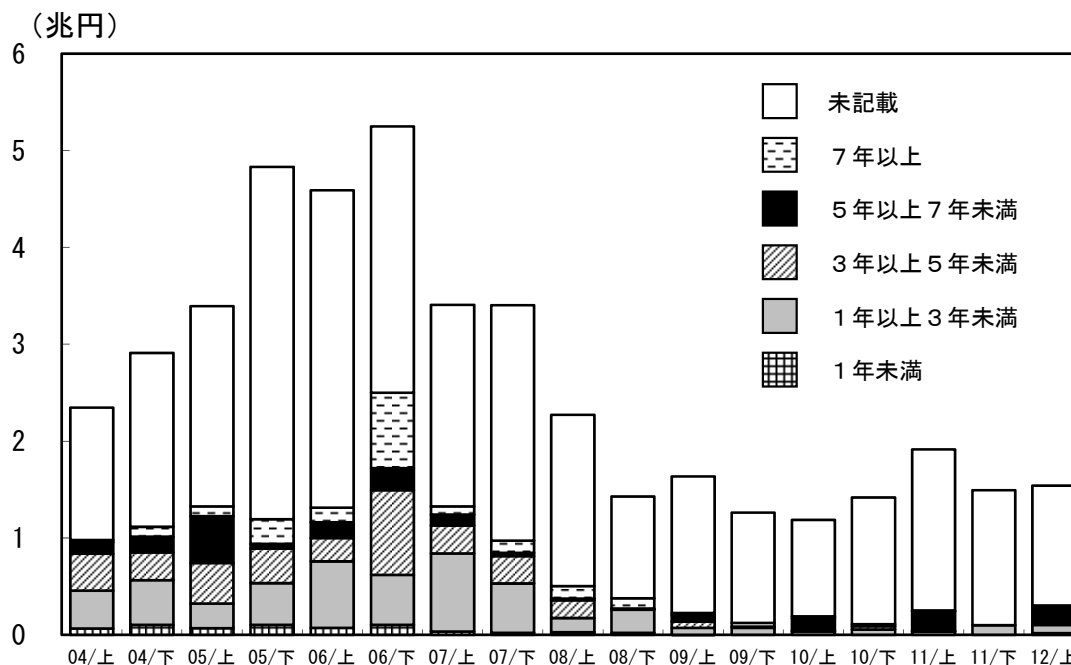
（図表 8）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2012 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 5,385 億円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が 80%（1 兆 2,349 億円）を占めたが、記載のある中では、「5 年以上 7 年未満」が 13%（2,000 億円）と最も多かった（図表 9）。

（図表 9）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2012 年度上半期における証券化商品の発行金額（1 兆 5,385 億円）を「格付」別にみると、「A A A」が 82%（1 兆 2,556 億円）を占めた（図表 10）。

（図表 10）証券化商品の「格付」別発行金額

